

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	No5	併設の医療機関と共に身体拘束委員会に参加し取り組みは行われているが、入居者様にとって何が拘束となるかを考えながら日々のケアを行えるようにする必要がある。	身体拘束の勉強会や研修に進んで参加する。	①併設の医療機関の身体拘束委員会へ必ず参加し伝達研修を行う。 ②身体拘束の研修会がある時は参加し伝達研修を行う。	12ヶ月
2	No13	年2回の火災訓練は実施できているが、夜間想定火災訓練や地震等の災害時についての訓練はされていないので今後、協力体制を築きながら実施できるようにしたい。	年2回のうち1回は夜間想定にて行い、後1回は地震と火災訓練を組み合わせての実施とする。	①運営推進委員会で訓練等の事を話題とする事で、地域の方や市役所の方、家族の方にも協力を得られるようお願いする。	12ヶ月
3		家族アンケートにて職員の言葉使いが気になるとの指摘が多かったため改善の必要がある。	入居者様を尊敬した言葉使いができるようになる。	①日常のケアの中で声かけする際に意識しながら行う。 ②職員間で注意し合える雰囲気ができるよう話し合いをもつ。 ③自己啓発ができるよう勉強会、研修会に参加する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。